



Gard、日本で提供可能な保険種目を拡充

Gardは本日、日本市場での取り扱い種目を大幅に拡充し、既存の保険商品に加え、船舶保険を含むマリン・エネルギーリスクをカバーする各種保険商品を新たに提供開始することを発表しました。この拡充は、Gardが日本市場への取り組みを強化する上で重要な節目となります。

公開日 22 January 2025

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gardは本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。本記事の内容は専門的助言を構成するものではなく、当該情報への依拠は全て利用者の責任において行われるものとします。Gard ASならびにその関連会社（ガードジャパン株式会社を含む）、代理人および従業員は、提供された情報への依拠により生じるいかなる種類の損失、費用または損害についても、それがGard AS、その株主、コレスポンデントまたはその他の寄稿者のいずれを情報源とするかを問わず、一切の責任を負わないものとします。

また、本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文と内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。

GardのChief Underwriting OfficerであるBjørnar Andresenは次のように述べています。

「Gardは過去30年以上にわたり、日本の船主の皆さまにP&I保険を提供してきました。このたび、船体保険、船舶戦争保険、不稼働損失保険等もご提供できることを大変嬉しく思います。日本は世界最大級の船隊を有する国であり、Gardにとって成長を目指す重要な市場です。安定した価格設定、包括的な補償、そしてGardならではの高品質なサービスに対する需要が高まっていることを受け、これらの製品を日本市場に導入することを決定しました。」

今回の拡充により、船体保険だけでなく、造船所向けの建造保険や、日本の新興産業である洋上風力発電向けの各種保険の提供も可能となります。

Gard Japanの代表取締役、ルイス・シェパードは次のように述べています。「これらの重要な保険商品について、日本市場に新たな選択肢をご提供できることを大変楽しみにしています。Gardは長年にわたり、多くの日本の船主の皆さまから信頼をいただいております。この分野における専門性とコミットメントを示すことで、その信頼関係をさらに強化していきたいと考えています。」

Gardは世界最大のP&I保険者であるだけでなく、船舶保険の分野でも世界最大の保険会社です。同社の船舶保険のポートフォリオには20,000隻以上の船舶が含まれ、その約半数においてGardは幹事を拝命しております。また、世界各地の主要なタイムゾーンを200名以上の事故対応スタッフが網羅し、大規模かつ複雑な事故対応における専門知識を発揮しています。Gardは日本の拠点を東京と今治に置いております。

編集者後記

Gardは海上保険のグローバルリーダーとして、世界中の船主および事業者に幅広い保険商品とサービスを提供しています。同社は世界13拠点に約700人のスタッフを擁しています。

Gardの2023年度の総引受保険契約額は11億米ドルであり、S&Pより「A+（安定的見通し）」の格付けを受けています。

お問い合わせ

Karoline Flåm (karoline.flaam@gard.no)

ガードジャパン株式会社 (gardjapan@gard.no)

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gardは本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。本記事の内容は専門的助言を構成するものではなく、当該情報への依拠は全て利用者の責任において行われるものとします。Gard ASならびにその関連会社（ガードジャパン株式会社を含む）、代理人および従業員は、提供された情報への依拠により生じるいかなる種類の損失、費用または損害についても、それがGard AS、その株主、コレスポンデントまたはその他の寄稿者のいずれを情報源とするかを問わず、一切の責任を負わないものとします。

また、本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されています。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。